

調査観測計画部会の活動状況

令和2年3月9日
地震調査研究推進本部
政策委員会調査観測計画部会

令和元年8月22日の第58回政策委員会以降、これまでの調査観測計画部会（部会長：平原和朗・国立大学法人京都大学名誉教授／国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター非常勤研究員）の活動状況は以下のとおりである。

1. 令和2年度の重点的調査対象活断層について

調査観測計画部会は、平成26年8月27日に策定された「地震に関する総合的な調査観測計画」に基づいて調査対象活断層を決定し、毎年見直しを行っている。令和2年2月の第84回会合においては、来年度新たに実施する活断層の重点的調査観測の対象として、屏風山・恵那山断層帯及び猿投山断層帯（恵那山－猿投山北断層帯）を選定することを決定した。

2. 令和元年度補正予算及び令和2年度予算案における地震・津波観測網について

地震・津波観測網に係る令和元年度補正予算及び令和2年度予算案について、事務局から現状及び進捗状況の報告があった。

表1 最近の調査観測計画部会の開催状況

開催年月日	回	議題
平成30年 8月 9日	第82回	(1) 次期ケーブル式海底地震・津波観測システムのあり方について (2) 地殻変動観測について
平成31年 2月19日	第83回	(1) 平成31年度の重点的調査対象活断層について (2) 第3期総合的かつ基本的な施策について (3) 次期ケーブル式海底地震・津波観測システムの構築について
令和 2年 2月 3日	第84回	(1) 令和2年度の重点的調査対象活断層について (2) 令和元年度補正予算及び令和2年度予算案における地震・津波観測網について